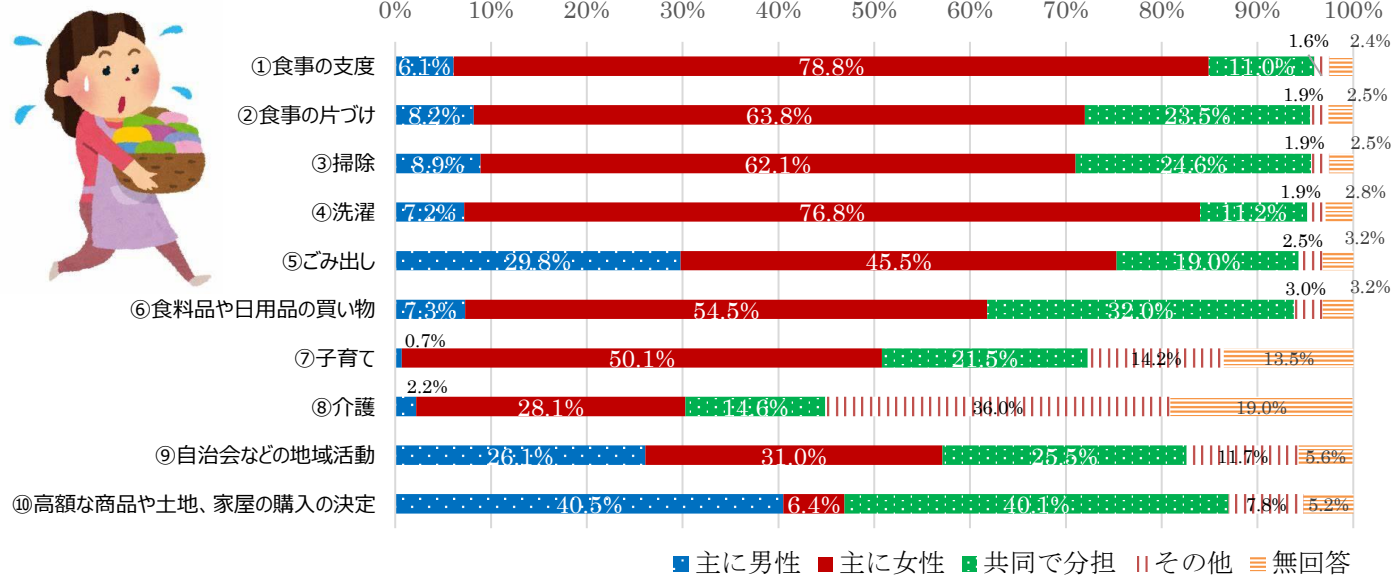


家庭での役割分担



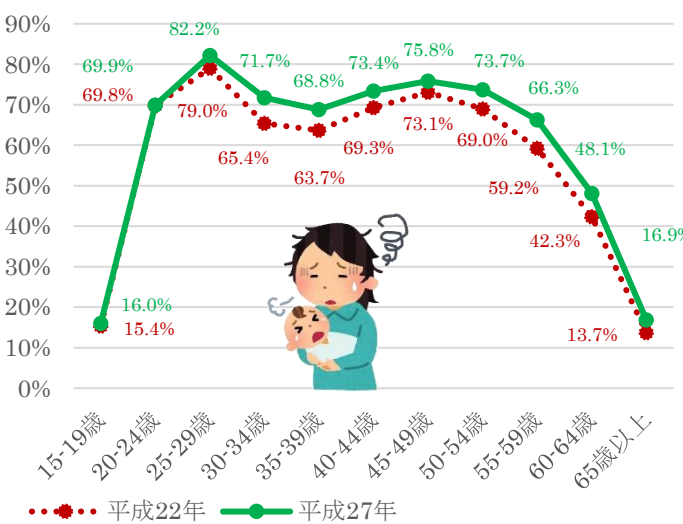
■主に男性 ■主に女性 ■共同で分担 ■その他 ■無回答

出典：久喜市『平成28年度久喜市男女共同参画に関する市民意識調査報告書』より作成

家事の役割分担について、10項目のうち9項目で「主として女性」と回答した割合が、「主として男性」を上回っており、日常的に行われる家事のほとんどを女性が担っていることがわかります。最も回答が多かったのは、「①食事の支度」78.8%で、次いで「④洗濯」76.8%の順となっています。

「主として男性」と回答した割合が最も高かったのは、「⑩高額な商品や土地、家屋の購入の決定」40.5%で、次いで「⑤ごみ出し」が29.8%の順です。

女性年齢階級別労働力率の推移(※4)

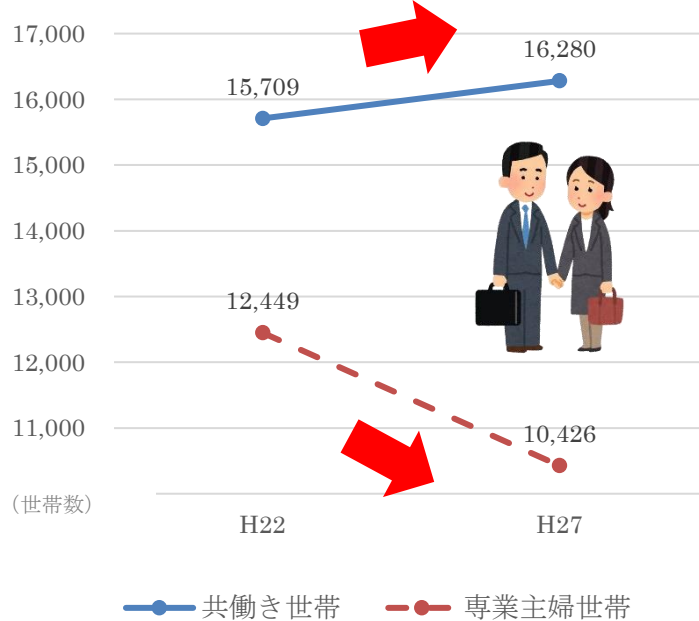


女性の労働力率は、平成22年から平成27年にかけて全体的に上昇していますが、**出産・子育て期にあたる30歳代で大きく低下し、M字カーブを描いている状況は変わっていません。**

家事・育児などの役割分担を見直し、働きたい方誰もが性別にとらわれることなく能力を十分に発揮できる社会づくりが求められています。

※4 出典：総務省統計局『平成22年国勢調査』、『平成27年統計調査』より作成

久喜市の共働き世帯数の推移(※4)



平成22年から平成27年にかけて、**共働き世帯**が増加し、**専業主婦世帯**は減少傾向にあります。平成27年には、**共働き世帯が全体の6割**を超えました。

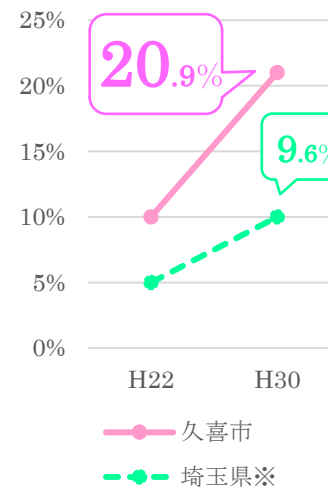
◆問合せ先／久喜市総務部人権推進課
〒346-8501 久喜市下早見 85-3 電話：0480-22-1111 (内線 2322・2325) FAX：0480-22-3319
メールアドレス：jinken@city.kuki.lg.jp



久喜市男女共同参画ミニ白書

(令和元年度版)

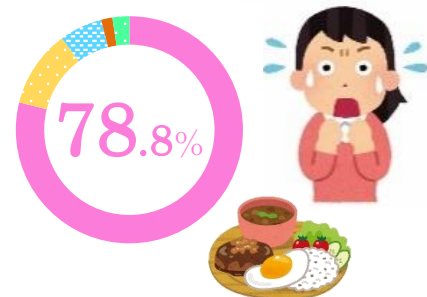
久喜市職員の管理職に占める女性の割合



(小数点以下四捨五入)
※2 ページ「行政職と公立小・中学校の女性管理職割合の推移」から抜粋



家庭での役割分担(食事の支度)



■主として女性
■共同で分担
■主として男性
■その他
■無回答

※4 ページ「家庭での役割」より再掲・抜粋

家族みんなで、家事、子育て、介護などを行い、ゆとりある生活を送ることができる社会

家庭では

みんなで目指そう！
男女共同参画社会

職場では

仕事と家庭を両立する職場環境が整い、男女問わず能力を十分に発揮できる社会



地域では

性別や年齢にかかわらず、主体的に地域に参画し、子育てや介護などを地域全体で支えることができる社会



久喜市は、平成22年3月23日に合併し、同年9月30日には「久喜市男女共同参画を推進する条例」が制定され、男女が性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる社会を目指しています。

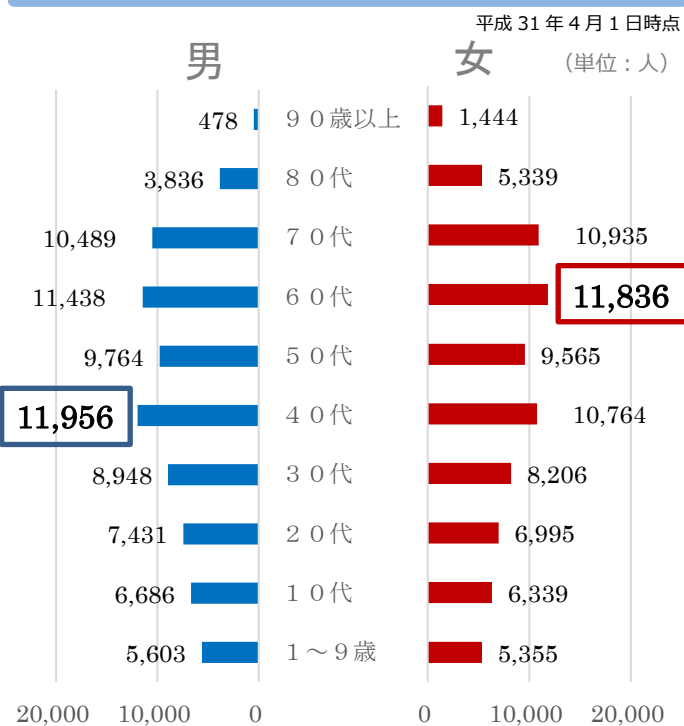
このミニ白書では、久喜市の男女共同参画に係るデータを集めました。



久喜市は、お互いを認め合える社会を築くため、「人間尊重・平和都市」を宣言しました

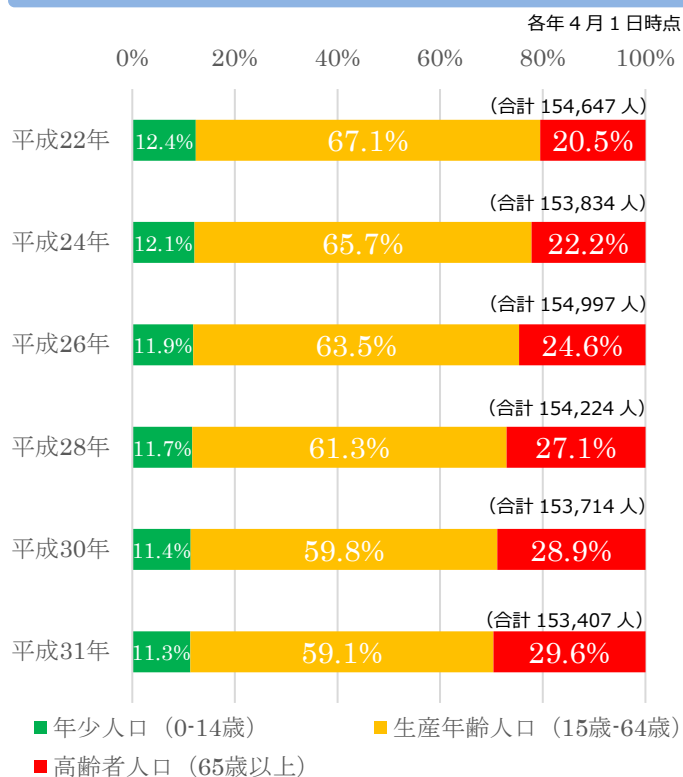
～ 性的指向や性的自認を理由とした偏見や差別をなくしましょう ～

男女別年代別人口(※1)



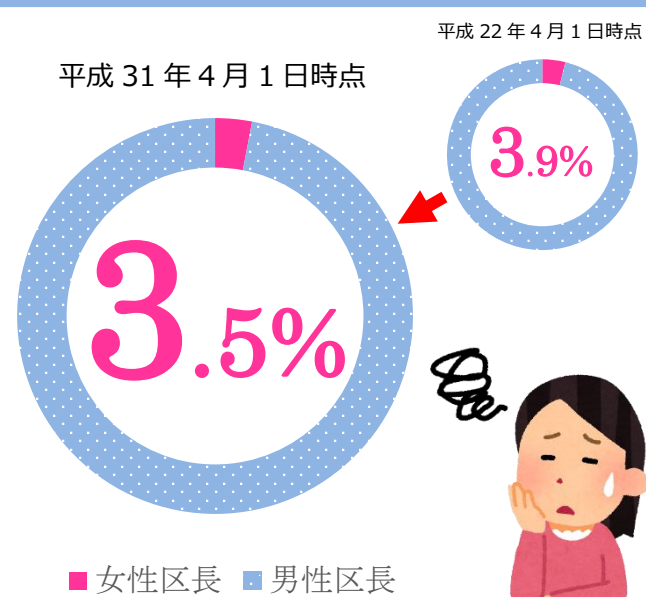
平成31年4月1日現在の久喜市の人口は、153,407人です。男性は40代、女性は60代が最多となっています。

年齢区分別人口比率の推移(※1)



年少人口及び生産年齢人口は減少し、高齢者人口は増加しています。

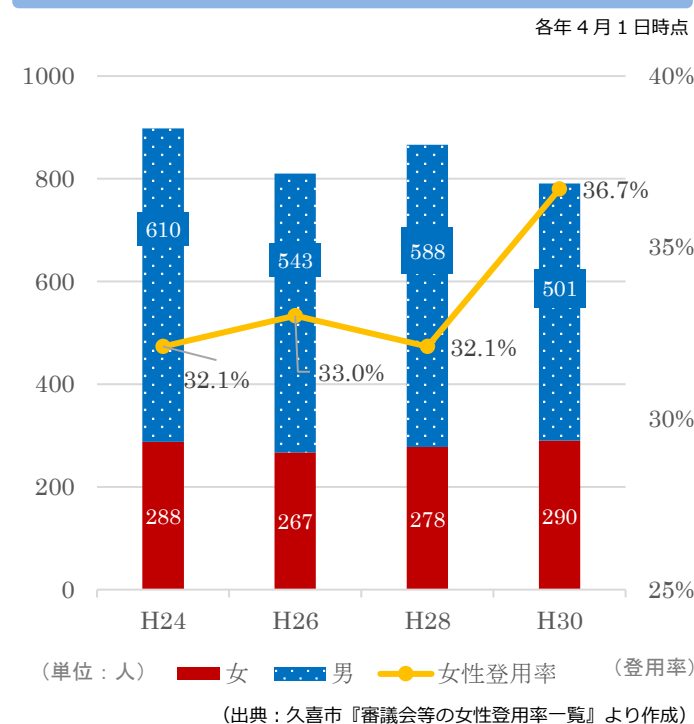
行政区長の女性割合



平成31年4月時点の行政区長258名中、女性区長は9名(3.5%)です。(内訳:久喜地区2名、鷲宮地区7名)

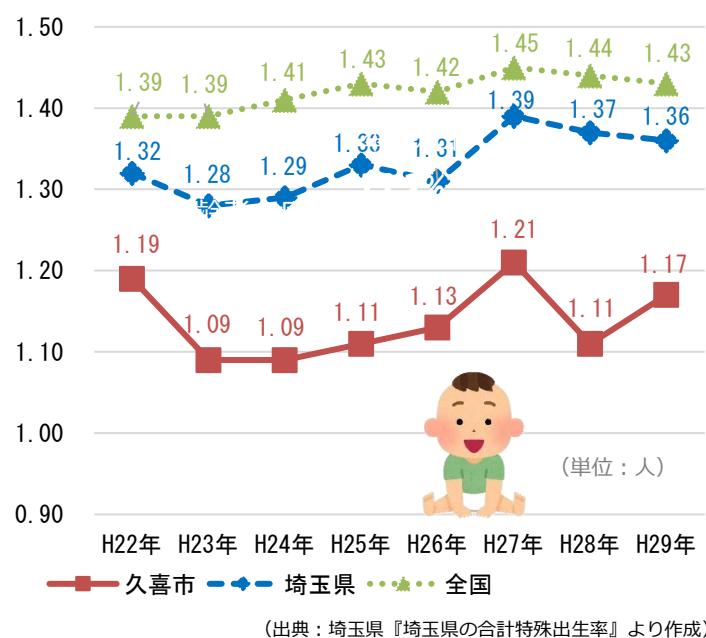
10年間の女性区長の変動を見ても大きな動きがなく、女性区長が増えていないことがわかります。

審議会等の女性登用率



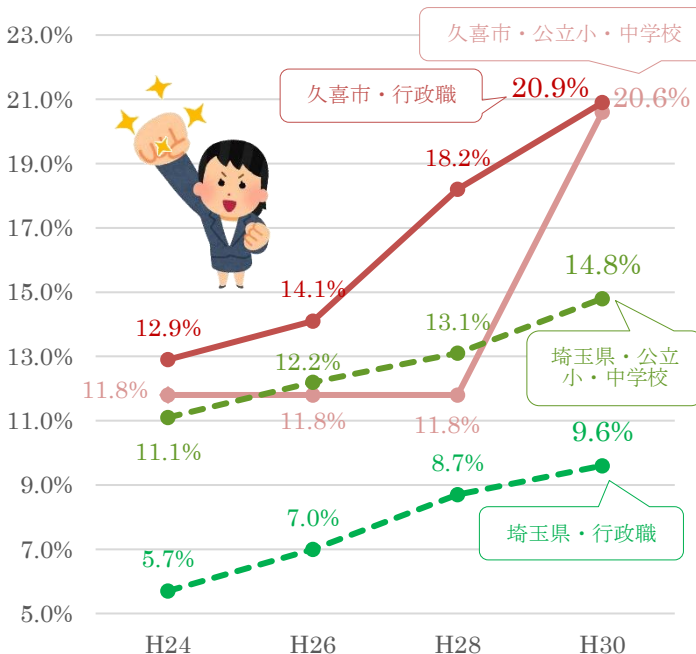
久喜市の審議会等の女性登用率は、概ね上昇しています。埼玉県目標値である30%を超えています(平成30年度は埼玉県内第2位)。

合計特殊出生率



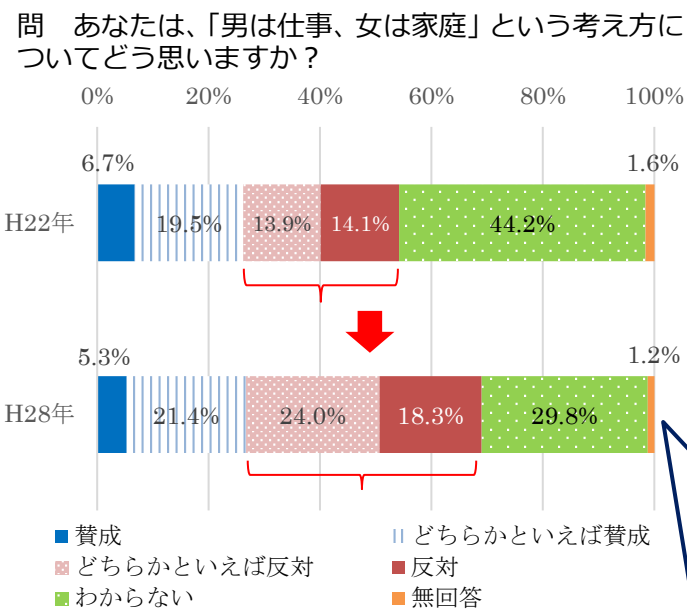
「合計特殊出生率」とは、一人の女性が生涯に産むと見込まれる子どもの数のことをいいます。久喜市は1.17人(H29)で、全国平均1.43人及び埼玉県平均1.36人を下回っています。

行政職と公立小・中学校の女性管理職割合の推移(※2)



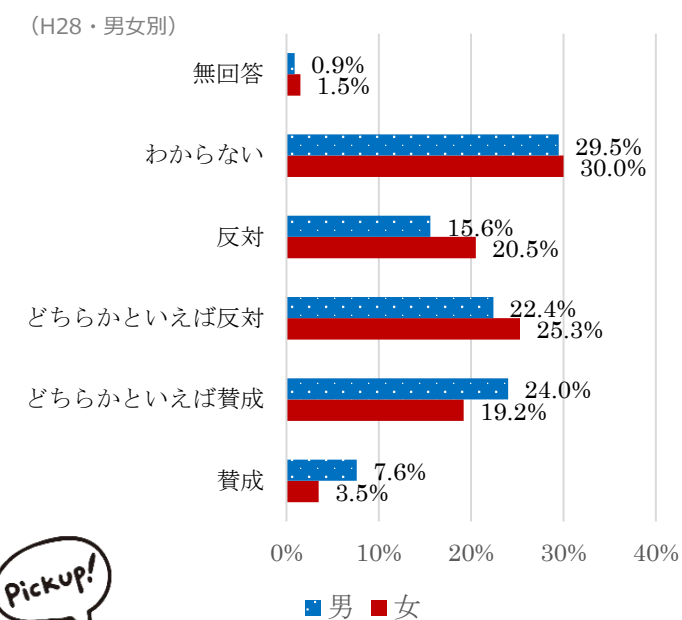
久喜市の「行政職」と「公立小・中学校」の女性管理職の割合は概ね上昇しており、平成30年度では「行政職」では20.9%、「公立小・中学校」では20.6%と、埼玉県よりも高い割合を示しています。

固定的性別役割分担意識の推移(※3)



平成22年と比べ、平成28年では、「男は仕事、女は家庭」という性別役割意識について「わからない」と回答した割合が減り、「反対」又は「どちらかといえば反対」と答えた割合が42.3%と最多でした。固定的性別役割分担の意識が変化していることが伺えます。

男女別・固定的役割分担意識の違い(※3)



男女別で回答を見ると、「反対」、「どちらかといえば反対」と回答した割合は女性が多く、「賛成」、「どちらかといえば賛成」と回答した割合は男性が多くなっています。

※1 出典:久喜市『年齢別住民基本台帳人口』より作成

※2 出典:埼玉県『男女共同参画に関する年次報告』より作成

※3 出典:久喜市『平成28年度久喜市男女共同参画に関する市民意識調査報告書』より作成